

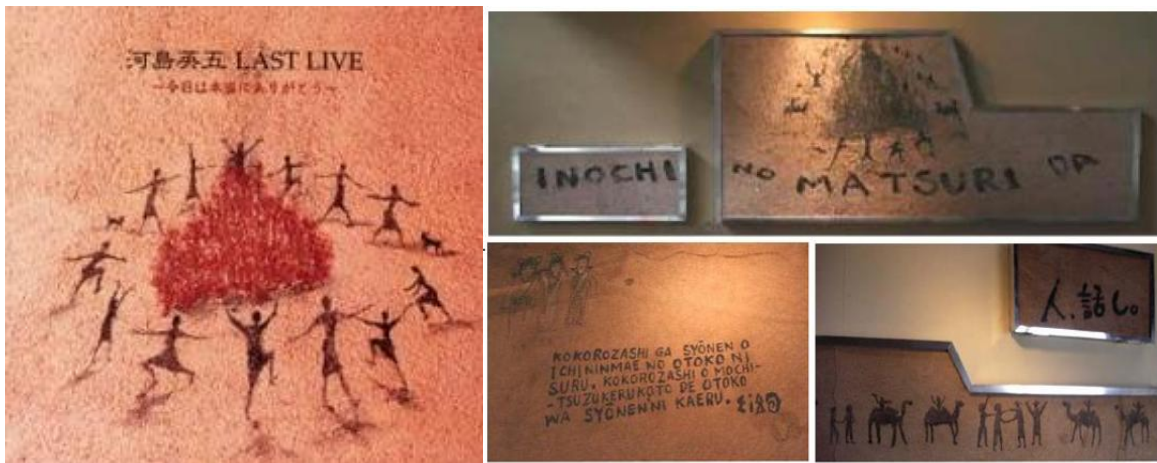
1. 3月23日 イースター・復活日に
2. 卑弥呼の時代「大和への鉄の道」のルートは 淀川・大和川・紀ノ川 ????
弥生時代の終わり 古墳時代の幕開け
やっぱり 大和川が最有力か… 畿内に現れる庄内式土器が語る卑弥呼の重要路

1. 3月23日 イースター・復活日に

今年はいースターが3月23日 いつもより早かった。
 イースターがくると春であるが、この時期 クリスマスは キリストの受難に思いをはせ、自分の生き方や周囲の人たちに目を向けて祈る。
 先日 友人からメールで 今年のはうるう年で2月は29日があったが、使っている日課表の月29日の項に「わたしたちが愛さない人のためにいのる日」とあるという。
 自分の敵なる人の為には4年に1回祈ればいいのだろうか……という。
 昨年8月の広島のパワー行進に参加した時 ある神父さんが、「今の日本では、週末になると『ちょっと平和を』ですわね」と。
 ガンと頭をたたかれた思いをしたことを思い出しました。



「酒と泪と男と女」「野風僧」など亡くなった河島英吾のフレーズが好きなのですが、その娘さんたちが奈良の街でやっておられる静かな喫茶店があると聞いていて、一度行ってみたかったのですが、3月8日探し当てていってきました。
 その喫茶店の壁に下の写真のような河島英吾の絵とフレーズが飾られていました。



暖かい輪の集いに縄文のストーンサークルを重ねながら、現在の世相をあれやこれや・・・
 元気をもらって帰ってきました。
 また、4月は新しい出発の時でもあります。
 地球人 みんなに思いをはせ「主の平和」と祈りますが、みんなが お互いを生かしあう知恵を神剣に出し合わねば・・・
 ことしのイースターの時期の思いです。